

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2010年10月28日から2020年10月22日までです。
運用方針	<p>成長国通貨建て国際機関債を主要投資対象とし、安定した収益の確保と中長期的な投資信託財産の成長を目指して運用を行います。なお、成長国の現地通貨建て国債に投資することもあります。</p> <p>成長国とは、新興国および資源国のことをいい、原則として以下の条件を満たす国を指します。</p> <p>新興国：IMFが新興国と定義する国かつ名目GDPが1,000億米ドル以上の国</p> <p>資源国：鉱物資源、エネルギー資源、食糧資源等を産出する国で、その資源がその国の経済成長に寄与すると考えられる国</p> <p>投資にあたっては、経済動向、金利水準および為替動向等を勘案して投資対象国および投資比率を決定します。</p> <p>外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>
主要投資対象	成長国通貨建て国際機関債を主要投資対象とします。
投資制限	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	<p>毎月22日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき収益分配を行います。</p> <p>分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案のうえ決定します。</p> <p>分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。</p>

## 運用報告書（全体版）

### 成長国通貨・ 国際機関債オープン （愛称 世界にエール）

第97期（決算日 2018年11月22日） 第100期（決算日 2019年2月22日）  
第98期（決算日 2018年12月25日） 第101期（決算日 2019年3月22日）  
第99期（決算日 2019年1月22日） 第102期（決算日 2019年4月22日）

#### 受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

皆様の「成長国通貨・国際機関債オープン（愛称 世界にエール）」は、2019年4月22日に第102期決算を迎えたので、過去6ヵ月間（第97期～第102期）の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。

今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社クライアント・サービス部へ  
フリーダイヤル ☎ 0120-048-214（営業日の9:00～17:00）

【ホームページ】

<https://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金					
	円		円		%	%	%	百万円	
73期(2016年11月22日)	5,951		40		△0.1	90.3	—	226	
74期(2016年12月22日)	6,263		40		5.9	90.7	—	238	
75期(2017年1月23日)	6,146		40		△1.2	89.4	—	233	
76期(2017年2月22日)	6,310		40		3.3	89.6	—	239	
77期(2017年3月22日)	6,311		40		0.6	92.1	—	238	
78期(2017年4月24日)	6,190		40		△1.3	91.4	—	232	
79期(2017年5月22日)	6,139		40		△0.2	92.0	—	228	
80期(2017年6月22日)	6,189		40		1.5	93.7	—	230	
81期(2017年7月24日)	6,338		40		3.1	92.6	—	233	
82期(2017年8月22日)	6,208		40		△1.4	91.5	—	211	
83期(2017年9月22日)	6,382		40		3.4	91.9	—	216	
84期(2017年10月23日)	6,264		40		△1.2	90.4	—	208	
85期(2017年11月22日)	6,025		40		△3.2	90.3	—	193	
86期(2017年12月22日)	6,118		40		2.2	90.7	—	196	
87期(2018年1月22日)	6,181		40		1.7	90.8	—	198	
88期(2018年2月22日)	5,941		40		△3.2	87.8	—	189	
89期(2018年3月22日)	5,798		40		△1.7	90.8	—	178	
90期(2018年4月23日)	5,798		40		0.7	91.2	—	178	
91期(2018年5月22日)	5,613		40		△2.5	91.1	—	172	
92期(2018年6月22日)	5,392		40		△3.2	91.6	—	165	
93期(2018年7月23日)	5,465		40		2.1	89.6	—	167	
94期(2018年8月22日)	5,179		40		△4.5	93.0	—	155	
95期(2018年9月25日)	5,189		40		1.0	90.5	—	155	
96期(2018年10月22日)	5,201		40		1.0	83.8	—	155	
97期(2018年11月22日)	5,323		40		3.1	91.2	—	156	
98期(2018年12月25日)	5,130		40		△2.9	72.4	—	145	
99期(2019年1月22日)	5,177		40		1.7	88.5	—	145	
100期(2019年2月22日)	5,270		40		2.6	91.6	—	147	
101期(2019年3月22日)	5,222		40		△0.2	92.4	—	144	
102期(2019年4月22日)	5,148		40		△0.7	89.9	—	141	

(注) 基準価額および分配金(税引前)は1万円当たり、基準価額の騰落率は分配金(税引前)込み。

(注) 当ファンドは成長国通貨建て国際機関債を主要な投資対象としており、パフォーマンスを比較するのに適切な指数がありません。そのため、特定のベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

(注) 債券先物比率＝買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

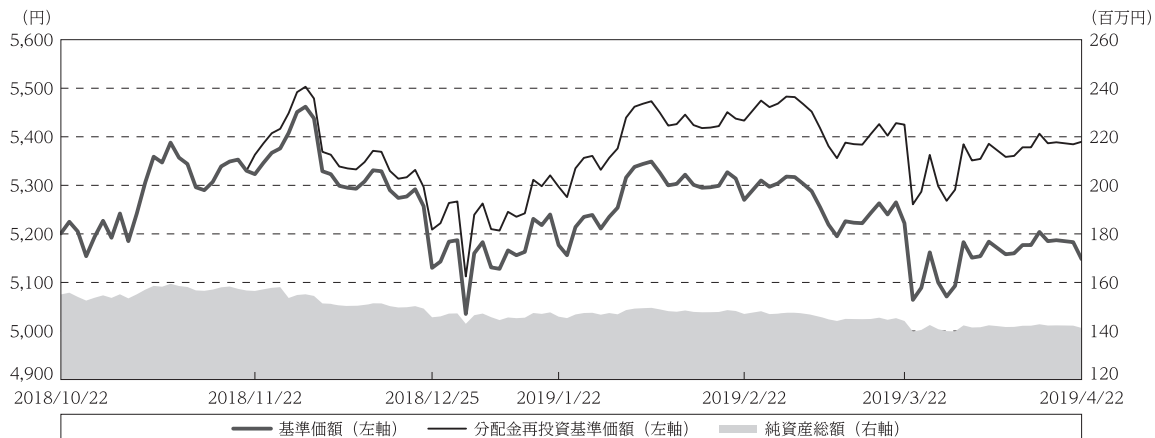
決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
			騰 落 率	騰 落 率		
第97期	(期 首) 2018年10月22日	円 5,201	% —		% 83.8	% —
	10月末	5,242	0.8		79.1	—
	(期 末) 2018年11月22日	5,363	3.1		91.2	—
第98期	(期 首) 2018年11月22日	5,323	—		91.2	—
	11月末	5,451	2.4		89.3	—
	(期 末) 2018年12月25日	5,170	△2.9		72.4	—
第99期	(期 首) 2018年12月25日	5,130	—		72.4	—
	12月末	5,187	1.1		87.8	—
	(期 末) 2019年1月22日	5,217	1.7		88.5	—
第100期	(期 首) 2019年1月22日	5,177	—		88.5	—
	1月末	5,254	1.5		94.4	—
	(期 末) 2019年2月22日	5,310	2.6		91.6	—
第101期	(期 首) 2019年2月22日	5,270	—		91.6	—
	2月末	5,304	0.6		92.0	—
	(期 末) 2019年3月22日	5,262	△0.2		92.4	—
第102期	(期 首) 2019年3月22日	5,222	—		92.4	—
	3月末	5,071	△2.9		92.0	—
	(期 末) 2019年4月22日	5,188	△0.7		89.9	—

(注) 期末基準価額は1万円当たり分配金（税引前）込み、騰落率は期首比。

## 運用経過

### 作成期間中の基準価額等の推移

（2018年10月23日～2019年4月22日）



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2018年10月22日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

### ○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

#### （主なプラス要因）

- ・保有債券からの利息収入がプラスに寄与しました。
- ・インドネシアルピア建て債券などの利回り低下による債券価格の上昇がプラスに寄与しました。
- ・インドネシアルピアの対円での上昇がプラスに寄与しました。

#### （主なマイナス要因）

- ・ブラジルリアルやトルコリラの対円での下落がマイナスに作用しました。

**投資環境**

(2018年10月23日～2019年4月22日)

投資対象とした成長国通貨建て債券市場は、全般に利回りが低下しました。米連邦準備制度理事会（FRB）がハト派（金融引締めを慎重）姿勢に転じたことから、米国の金利上昇を背景とした新興国や資源国からの投資資金の流出懸念が和らぎ、投資家の利回り選好の動きが強まる展開となりました。ただ、作成期末にかけては、トルコの地方選挙を巡る政治不安など、一部の新興国市場に対する懸念が高まったこともあり、投資家のリスク志向が減退する中、利回りが上昇する場面も見られました。

為替市場は、中国政府が景気下支えに向けて政策対応を強化し、アジア地域への波及効果が期待されたことなどから、インドネシアルピアが対円で上昇しました。一方、ブラジルレアルは、2019年1月に就任したボルソナロ新大統領による年金改革への期待から買いが入る場面も見られましたが、その後は政権基盤の弱さなどによる政策実行力への不安から売り圧力が強まり、対円で下落しました。また、トルコリラは、先述の政治不安の高まりを受けて、軟調な動きとなりました。

**当ファンドのポートフォリオ**

(2018年10月23日～2019年4月22日)

債券組入比率は市場動向に応じて調整し、作成期末時点では89.9%としました。

新興国および資源国の中から、経済動向、金利水準および為替動向を勘案し、オーストラリア、インドネシア、トルコ、南アフリカ、メキシコ、ブラジルの6カ国を投資対象とし、各国通貨建ての国際機関債をポートフォリオに組み入れました。通貨配分は、市場環境、各国のファンダメンタルズ、金利水準等を勘案して調整を図りました。当作成期は、ブラジルレアルなどの比率を引き下げ一方、インドネシアルピアなどの比率を引き上げました。また、トルコリラは、債券からの利息収入を勘案し、作成期中に比率を高めて運用しましたが、作成期末にかけては再度比率を引き下げました。

外貨建資産につきましては、運用の基本方針通り為替ヘッジは行いませんでした。

**当ファンドのベンチマークとの差異**

(2018年10月23日～2019年4月22日)

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載していません。

## 分配金

（2018年10月23日～2019年4月22日）

当ファンドの分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。当作成期間におきましては、分配可能額を勘案し、毎期1万口当たり40円（税引前）、合計で240円（税引前）の分配を行いました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項 目	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期	第102期
	2018年10月23日～ 2018年11月22日	2018年11月23日～ 2018年12月25日	2018年12月26日～ 2019年1月22日	2019年1月23日～ 2019年2月22日	2019年2月23日～ 2019年3月22日	2019年3月23日～ 2019年4月22日
当期分配金 (対基準価額比率)	40 0.746%	40 0.774%	40 0.767%	40 0.753%	40 0.760%	40 0.771%
当期の収益	40	40	40	40	40	40
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	239	248	253	271	279	281

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

投資対象とする成長国通貨建て債券市場は、当面不安定な展開となることを予想します。世界的な景気減速懸念や政治不安などから、今後も暫くの間は投資家のリスク回避姿勢が続くと見込んでいます。ただ、FRBなどがハト派姿勢を示し、主要先進国での低金利環境の長期化が見込まれていることもあり、中長期的には利回り水準の高い債券の投資魅力が強まると考えられるため、全般に成長国通貨建て債券の利回り上昇（価格の下落）は限定的と見ています。

為替市場は、成長国通貨が対円で上値の重い展開となることを予想します。世界経済の先行き不透明感などから、当面は円買いが優勢な展開を見込んでいます。ただ、米国の金利低下によって新興国市場からの資金流出懸念が和らいでいることもあり、全般に成長国通貨の対円で下値余地も限られると見ています。

このような状況下、当面は円高リスク等を勘案し、市場動向に応じて組入比率を調整する方針です。また、ファンドの運用においては、新興国および資源国の中から、経済動向、金利水準および為替動向を勘案し、引き続きオーストラリア、インドネシア、トルコ、南アフリカ、メキシコ、ブラジルの6カ国を投資対象とし、各国通貨建ての国際機関債に分散投資する方針です。ただし、各国の信用リスク、金利水準、ファンダメンタルズ、および通貨や債券の流動性等を勘案し、状況に応じて投資対象国の追加や変更を検討します。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2018年10月23日～2019年 4月22日)

項 目	第97期～第102期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a) 信託報酬＝作成期間中の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	(14)	(0.269)	委託した資金の運用の対価
( 販 売 会 社 )	(17)	(0.323)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	( 1 )	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	5	0.089	(b) その他費用＝作成期間中のその他費用÷作成期間中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	( 4 )	(0.083)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用
( 監 査 費 用 )	( 0 )	(0.006)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
( そ の 他 )	( 0 )	(0.000)	その他は、金銭信託支払手数料
合 計	38	0.708	
作成期間中の平均基準価額は、5,251円です。			

(注) 作成期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2018年10月23日～2019年4月22日)

○売買及び取引の状況とは、ファンドが購入・売却した有価証券の数量および金額です。

### 公社債

			第97期～第102期	
			買付額	売付額
外	メキシコ	特殊債券	千メキシコペソ 3,997	千メキシコペソ 3,839
	ブラジル	特殊債券	千ブラジルリアル -	千ブラジルリアル 617
	トルコ	特殊債券	千トルコリラ 2,972	千トルコリラ 3,319
	オーストラリア	特殊債券	千オーストラリアドル 105	千オーストラリアドル -
国	インドネシア	特殊債券	千インドネシアルピア 4,695,940	千インドネシアルピア 1,593,600 (2,000,000)
	南アフリカ	特殊債券	千南アフリカランド 2,533	千南アフリカランド - ( 2,200)

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ( )内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## ○利害関係人との取引状況等

(2018年10月23日～2019年4月22日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。



○組入資産の明細

(2019年4月22日現在)

外国公社債

(A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	第102期末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
メキシコ	千メキシコペソ 6,300	千メキシコペソ 5,956	千円 35,557	% 25.2	% —	% 16.8	% —	% 8.4
ブラジル	千ブラジルレアル 400	千ブラジルレアル 431	12,301	8.7	—	—	—	8.7
トルコ	千トルコリラ 50	千トルコリラ 50	973	0.7	—	—	—	0.7
オーストラリア	千オーストラリアドル 200	千オーストラリアドル 210	16,883	12.0	—	6.0	—	6.0
インドネシア	千インドネシアルピア 5,000,000	千インドネシアルピア 5,101,130	40,809	28.9	—	—	11.5	17.4
南アフリカ	千南アフリカランド 2,500	千南アフリカランド 2,572	20,475	14.5	—	—	14.5	—
合 計	—	—	127,000	89.9	—	22.8	26.0	41.1

(注) 邦貨換算金額は、作成期間末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	銘柄	利率	額面金額	第102期末		償還年月日	
				評価額			
				外貨建金額	邦貨換算金額		
メキシコ		%	千メキシコペソ	千メキシコペソ	千円		
	特殊債券 (除く金融債)	INT BK RECON&DEV 7.5	7.5	2,000	1,982	11,834	2020/3/5
		INTL FIN CORP 7	7.0	4,300	3,973	23,722	2027/7/20
小	計					35,557	
ブラジル			千ブラジルレアル	千ブラジルレアル			
	特殊債券 (除く金融債)	INT BK RECON&DEV 11.75	11.75	400	431	12,301	2020/11/4
小	計					12,301	
トルコ			千トルコリラ	千トルコリラ			
	特殊債券 (除く金融債)	EURO BK RECON&DV 30	30.0	50	50	973	2020/1/15
小	計					973	
オーストラリア			千オーストラリアドル	千オーストラリアドル			
	特殊債券 (除く金融債)	ASIAN DEV BANK 3.1	3.1	100	105	8,454	2029/6/15
		EUROPEAN INVT BK 6	6.0	100	105	8,428	2020/8/6
小	計					16,883	
インドネシア			千インドネシアルピア	千インドネシアルピア			
	特殊債券 (除く金融債)	EURO BK RECON&DV 9.25	9.25	3,000,000	3,066,450	24,531	2020/12/2
		INTERAMER DEV BK 7.875	7.875	2,000,000	2,034,680	16,277	2023/3/14
小	計					40,809	
南アフリカ			千南アフリカランド	千南アフリカランド			
	特殊債券 (除く金融債)	EUROPEAN INVT BK 8.375	8.375	2,500	2,572	20,475	2022/7/29
小	計					20,475	
合	計					127,000	

(注) 邦貨換算金額は、作成期間末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2019年4月22日現在)

項目	第102期末	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	127,000	84.1
コール・ローン等、その他	23,951	15.9
投資信託財産総額	150,951	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) 作成期間末における外貨建純資産(123,036千円)の投資信託財産総額(150,951千円)に対する比率は81.5%です。

(注) 外貨建資産は、作成期間末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1メキシコペソ=5.97円、1ブラジルレアル=28.50円、1トルコリラ=19.27円、1オーストラリアドル=80.05円、1インドネシアルピア=0.008円、1南アフリカランド=7.96円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第97期末	第98期末	第99期末	第100期末	第101期末	第102期末
	2018年11月22日現在	2018年12月25日現在	2019年1月22日現在	2019年2月22日現在	2019年3月22日現在	2019年4月22日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	158,905,322	146,945,762	147,171,507	148,284,640	145,623,940	159,486,458
コール・ローン等	9,153,683	37,622,378	14,567,523	8,274,260	6,529,064	19,348,928
公社債(評価額)	142,727,094	105,484,074	129,062,097	134,687,041	133,205,920	127,000,110
未収入金	—	—	—	—	—	8,534,905
未収利息	3,478,109	2,898,295	2,912,323	4,569,033	5,131,614	2,143,251
前払費用	3,465,020	848,467	527,829	643,451	635,906	2,328,306
その他未収収益	81,416	92,548	101,735	110,855	121,436	130,958
(B) 負債	2,412,283	1,308,732	1,272,427	1,273,542	1,507,386	18,235,532
未払金	—	—	—	—	—	16,987,075
未払収益分配金	1,175,904	1,135,504	1,127,219	1,115,911	1,103,881	1,097,598
未払解約金	1,069,783	—	4,476	—	262,900	—
未払信託報酬	164,826	171,297	139,213	155,970	139,136	149,231
未払利息	19	43	26	10	6	37
その他未払費用	1,751	1,888	1,493	1,651	1,463	1,591
(C) 純資産総額(A-B)	156,493,039	145,637,030	145,899,080	147,011,098	144,116,554	141,250,926
元本	293,976,164	283,876,134	281,804,980	278,977,914	275,970,374	274,399,742
次期繰越損益金	△137,483,125	△138,239,104	△135,905,900	△131,966,816	△131,853,820	△133,148,816
(D) 受益権総口数	293,976,164口	283,876,134口	281,804,980口	278,977,914口	275,970,374口	274,399,742口
1万口当たり基準価額(C/D)	5,323円	5,130円	5,177円	5,270円	5,222円	5,148円

(注) 純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は第97期137,483,125円、第98期138,239,104円、第99期135,905,900円、第100期131,966,816円、第101期131,853,820円、第102期133,148,816円です。

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、第97期0.5323円、第98期0.5130円、第99期0.5177円、第100期0.5270円、第101期0.5222円、第102期0.5148円です。

(注) 当ファンドの第97期首元本額は298,142,934円、第97～102期中追加設定元本額は560,439円、第97～102期中一部解約元本額は24,303,631円です。

## ○損益の状況

項 目	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期	第102期
	2018年10月23日～ 2018年11月22日	2018年11月23日～ 2018年12月25日	2018年12月26日～ 2019年1月22日	2019年1月23日～ 2019年2月22日	2019年2月23日～ 2019年3月22日	2019年3月23日～ 2019年4月22日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	1,542,203	1,583,474	1,348,508	1,712,777	1,470,478	1,323,371
受取利息	1,535,697	1,580,774	1,342,166	1,708,725	1,465,611	1,316,709
その他収益金	7,246	3,896	7,018	4,256	4,961	7,193
支払利息	△ 740	△ 1,196	△ 676	△ 204	△ 94	△ 531
(B) 有価証券売買損益	3,408,934	△ 5,739,876	1,288,004	2,159,822	△ 1,520,573	△ 2,105,699
売買益	5,629,427	1,009,863	2,734,157	2,249,283	662,473	1,540,228
売買損	△ 2,220,493	△ 6,749,739	△ 1,446,153	△ 89,461	△ 2,183,046	△ 3,645,927
(C) 信託報酬等	△ 174,642	△ 188,047	△ 185,499	△ 181,934	△ 156,575	△ 165,542
(D) 当期損益金(A+B+C)	4,776,495	△ 4,344,449	2,451,013	3,690,665	△ 206,670	△ 947,870
(E) 前期繰越損益金	△135,147,290	△126,982,137	△131,453,365	△128,788,850	△124,810,906	△125,356,401
(F) 追加信託差損益金	△ 5,936,426	△ 5,777,014	△ 5,776,329	△ 5,752,720	△ 5,732,363	△ 5,746,947
(配当等相当額)	( 6,730,508)	( 6,499,710)	( 6,452,589)	( 6,388,248)	( 6,319,997)	( 6,284,780)
(売買損益相当額)	(△ 12,666,934)	(△ 12,276,724)	(△ 12,228,918)	(△ 12,140,968)	(△ 12,052,360)	(△ 12,031,727)
(G) 計(D+E+F)	△136,307,221	△137,103,600	△134,778,681	△130,850,905	△130,749,939	△132,051,218
(H) 収益分配金	△ 1,175,904	△ 1,135,504	△ 1,127,219	△ 1,115,911	△ 1,103,881	△ 1,097,598
次期繰越損益金(G+H)	△137,483,125	△138,239,104	△135,905,900	△131,966,816	△131,853,820	△133,148,816
追加信託差損益金	△ 5,936,426	△ 5,777,014	△ 5,776,329	△ 5,752,720	△ 5,732,363	△ 5,746,947
(配当等相当額)	( 6,730,508)	( 6,499,710)	( 6,452,589)	( 6,388,248)	( 6,319,997)	( 6,284,780)
(売買損益相当額)	(△ 12,666,934)	(△ 12,276,724)	(△ 12,228,918)	(△ 12,140,968)	(△ 12,052,360)	(△ 12,031,727)
分配準備積立金	311,898	561,830	684,464	1,194,274	1,391,815	1,444,243
繰越損益金	△131,858,597	△133,023,920	△130,814,035	△127,408,370	△127,513,272	△128,846,112

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

### (注) 収益分配金

決算期	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期	第102期
(a) 配当等収益(費用控除後)	1,487,802円	1,395,427円	1,253,625円	1,632,308円	1,313,903円	1,157,829円
(b) 有価証券等損益額(費用控除後、繰越欠損金補填後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	6,730,508円	6,499,710円	6,452,589円	6,388,248円	6,319,997円	6,284,780円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	0円	301,907円	558,058円	677,877円	1,181,793円	1,384,012円
分配対象収益(a+b+c+d)	8,218,310円	8,197,044円	8,264,272円	8,698,433円	8,815,693円	8,826,621円
分配対象収益(1万口当たり)	279円	288円	293円	311円	319円	321円
分配金額	1,175,904円	1,135,504円	1,127,219円	1,115,911円	1,103,881円	1,097,598円
分配金額(1万口当たり)	40円	40円	40円	40円	40円	40円

用語解説

○資産、負債、元本及び基準価額の状況は、期末における資産、負債、元本及び基準価額の計算過程を表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
<b>資産</b>	ファンドが保有する財産の合計です。
コール・ローン等	金融機関向けの安全性の高い短期貸付運用などの残高です。
各種有価証券等(評価額)	組入れた株式・債券・ファンドなどの評価金額です。
未収入金	入金が予定されている有価証券の売却代金などです。
未収配当金	入金が予定されている株式の配当金等です。
未収利息	入金が予定されているコール・ローン等の利息や債券の利息の合計です。
<b>負債</b>	支払いが予定されている金額の合計です。
未払収益分配金	期末時点で支払いが予定されている収益分配金です。
未払解約金	支払いが予定されている解約金です。
未払信託報酬	支払いが予定されている信託報酬の額です。
その他未払費用	支払いが予定されている監査費用、その他の費用です。
<b>純資産総額(資産－負債)</b>	ファンドが保有する財産の合計から支払いが予定されている金額の合計を差し引いたものです。
元本	ファンド全体の元本残高です。
次期繰越損益金	純資産総額と元本の差額(翌期に繰り越す損益金の合計額)です。
<b>受益権総口数</b>	受益者が保有する受益権口数の合計です。
1(万)口当たり基準価額	1(万)口当たりのファンドの時価です。

用語解説

○損益の状況は、期中にファンドがどのような収益や損失を計上したかを表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
<b>配当等収益</b>	ファンドが受取った配当金・利息等の合計です。
受取配当金	保有する株式等の配当金等です。
受取利息	債券、コール・ローン等の利息等です。
<b>有価証券売買損益</b>	有価証券の売買損益と期末の評価損益の合計額です。
売買益	売買益と期末評価益の合計です。
売買損	売買損と期末評価損の合計です。
<b>信託報酬等</b>	信託報酬のほか保管費用、監査費用、その他の費用と、それに掛かる消費税等相当額です。
<b>当期損益金</b>	当期における収支合計です。
<b>前期繰越損益金</b>	前期分の分配準備積立金と繰越損益金の合計額から当期中の解約に対する持分を控除した金額です。
<b>追加信託差損益金</b>	受益者がファンドに払い込んだ金額と元本との差額です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
<b>計</b>	収益分配前の期中の収支の総合計です。
<b>収益分配金</b>	期中の分配可能額から受益者に支払われる分配金です。
<b>次期繰越損益金</b>	翌期に繰り越す損益金の合計です。
追加信託差損益金	翌期に繰り越す追加信託差損益金です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
分配準備積立金	翌期に繰り越す分配準備積立金の額です。
繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の額です。

## ○分配金のお知らせ

	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期	第102期
1 万口当たり分配金（税引前）	40円	40円	40円	40円	40円	40円
支払開始日	各決算日から起算して5営業日までの間に支払いを開始します。					
お支払場所	取得申込みを取扱った販売会社の本店					

### <お知らせ>

該当事項はございません。